

八十二番地は沖野市郎右衛門、その北は吉田忠次郎、七十七番は新本又右衛門、七十五番地は池田市右衛門、七十四番は犬丸仁太郎、七十三番は沖田六右衛門、七十七番は朝本弥三衛門、九十八番地は新川清兵衛、九十九番は川端安右衛門、七十一番は福田庄吉、西側に渡つて二十番地は新川傳右衛門、二十一番地は福里利平で、前の二十二番は耕地になっている。

福田さんの北側には、大きな排水が西川に注いでいる。

細い道を挟んで道路に面して山本いそさんが住み、後ろの地面に中村岩松さんは二十四番地である。

二十五番地は吉田忠次郎さんで道を挟んで六十九番地はやはり吉田忠次郎さんである。

二十八番地は森田右衛門さんで、道に沿つて耕地になっているのが分かる、向かいの六十八番地は稲積栄作さんで、六十二番地から六十七番地まで全て吉田忠次郎さんの名前が見える。

向かいの二十九番地は吉岡藤左衛門、右隣の三十番地は、米沢傳兵衛さんで米沢本家の「まごんさ」の地所である、細い道を挟んで三十二番地は中本岩松さんで、道に面して耕地がある。

三十三番地は中村三右衛門さんで、三十五番地には向河原ひなさんが住んでいるし、道の向かいが高林七右衛門さんで、隣の五十五番地には吉岡七郎兵衛さんは五十四番地と共有している。

向かいには朝本弥三右衛門さんで道に沿つて、細い川が流れている有様が描かれているのがとても珍しい、先輩に聞いて見たいものだ。

